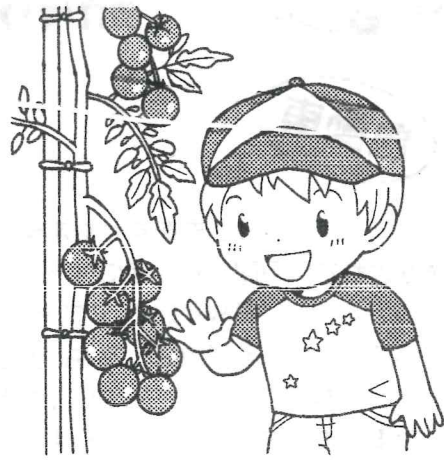
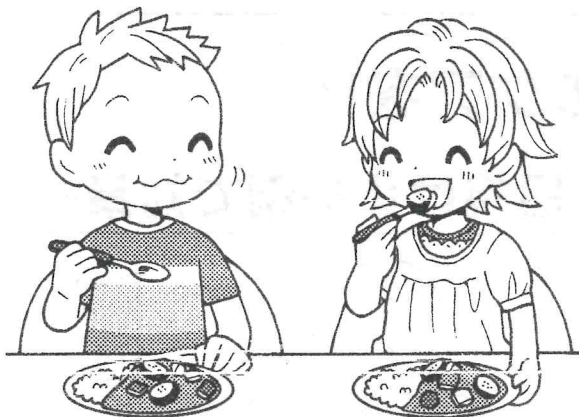


自然から学ぶ 食と命のつながり

子どもたちにとって作物栽培は、自然と食事を
つなげる学びの場となります。



食べられる作物の栽培から学ぶこと

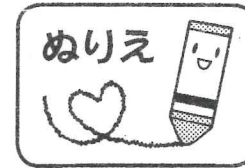
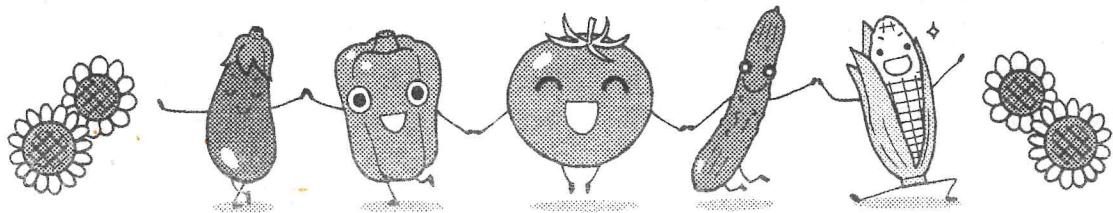


作物の栽培活動は、種や苗を植えたり、水やりをしたりするなどの世話をする経験を通して、作物の成育のようすを知ることができます。そして、その作物を収穫して食べることで、食べ物がもとは生き物であることや自然と食事はつながっていることに気づききっかけとなります。

ご家庭でも、子どもたちの食べ物に対する興味関心がより深まるように、食事の際に作物栽培のようすなどを話題に上げてみませんか。

旬のおいしい 夏野菜を食べよう

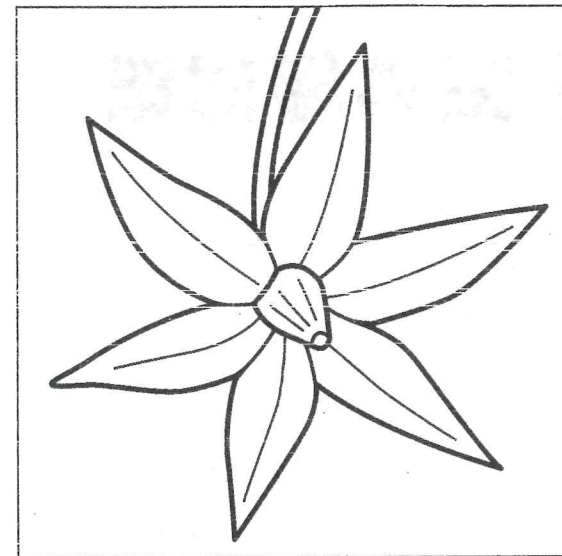
夏が旬の野菜には、トマトやきゅうり、ピーマン、なす、とうもろこし、えだまめ、オクラなどがあります。旬の野菜は栄養価が高く、ビタミンが豊富です。また、水分が多く含まれているので食事からも水分補給ができます。



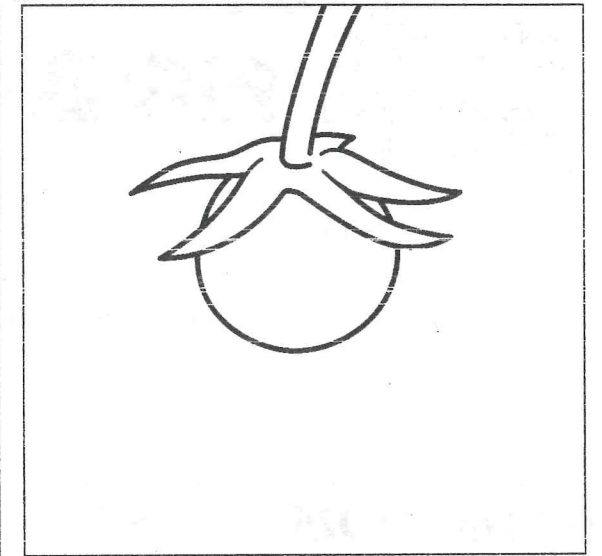
とまと トマトが できる ようす

したの えに いろを ぬって みよう

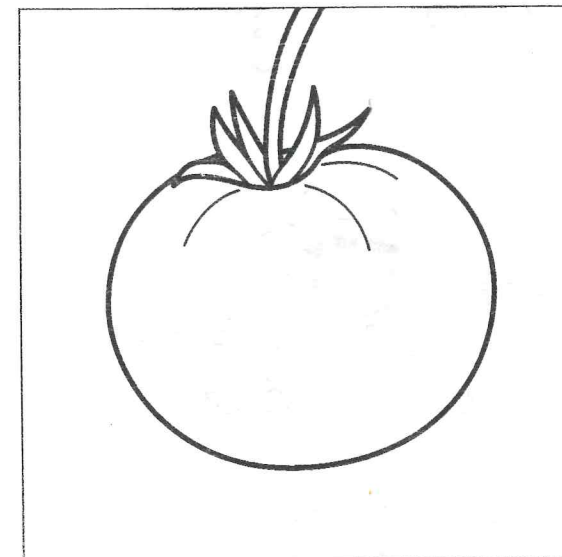
①きいろの はなが
さいたよ



②はなの あとに
みが なったよ



③みどりの みが
ふくらんで きたよ



④みが まっかに
だいへんしん

